

令和4(2022)年度

大阪府高視研と放送コンテスト委員会の歩み

大阪府高等学校視聴覚教育研究会

目次

大阪府高等学校視聴覚教育研究会事業報告	1
大阪府高等学校視聴覚教育研究会役員、異動ならびに会員消息	2
<研修会・講座・講習会>	3
高校生のための放送技術講座	
第1回 付：アンケート結果	3
第2回	6
第3回（芸文祭と併催）付：アンケート結果	8
第4回 付：アンケート結果	11
<放送コンテスト関係>	
大阪府高校放送コンテスト大阪大会	
実施報告（課題原稿・審査員一覧含む）	15
参加状況一覧	17
決勝結果一覧	18
全国大会結果	19
<芸術文化祭関係>	
第43回大阪府高等学校芸術文化祭 放送文化部門	20
第42回近畿高等学校総合文化祭(和歌山大会)放送部門	20
第46回全国高等学校総合文化祭(東京大会)放送部門	22
<大会および研修会>	
第7 2回近畿学校視聴覚教育研究大会・第7 1回近畿放送教育研究大会	24
和歌山大会（二次案内より抜粋）	
公式サイト等のご紹介	28

令和4年度 事業報告

(1) 総会および研修会

①総会 令和4年 5月25日(水) 大阪府立桃谷高等学校 ※ハイブリッド方式で開催

(2) 講座および講習会

①高校生のための放送技術講座

第1回 令和4年 4月17日(日) 大阪府立今宮工科高等学校 番組部門

24日(日) 相愛高等学校 アナウンス・朗読部門

第2回 令和4年 8月20日(土) 大阪夕陽丘学園高等学校 番組部門

21日(日) 四天王寺東高等学校 アナウンス・朗読部門

第3回 令和4年11月 6日(日) 大阪電気通信大学

第4回 令和5年 1月29日(日) 相愛高等学校

②放送クラブ指導者講習会/教員研修

令和4年 4月 放送コンテストについて ※WEB方式で実施

令和4年 5月25日(水) 教員研修 (NHKクリエイティブライブラリーの活用)

総会後 大阪府立桃谷高等学校 ※ハイブリッド方式で開催

(3) 放送コンテスト関係

第69回 NHK杯高校放送コンテスト大阪大会

令和4年 6月 4日(土) 番組部門予選 府立今宮工科高校 ※データ審査

5日(日) アナウンス・朗読部門予選 相愛高校 ※データ審査

令和4年 6月18日(土) 番組部門決勝 たかつガーデン

令和4年 6月19日(日) アナウンス・朗読・研究発表 決勝 相愛高校

関連行事

(1) 大会および研修会

①近畿放送教育研究協議会夏期特別研修会 ※今年度は実施せず

②第71回近畿放送教育研究大会/第26回近畿学校視聴覚教育研究大会 和歌山大会

令和4年11月10日(木) 和歌山県民文化会館・和歌山県立和歌山商業高等学校

③第26回視聴覚教育総合全国大会/第73回放送教育研究会全国大会

令和4年11月12日(土) ※WEB方式で実施

(2) 第69回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会

準々決勝 令和4年 7月 7日(水)～ 9日(金) ※データ審査

準決勝 7月27日(水) 代々木オリンピックセンター

決勝 7月28日(木) NHKホール

(3) 芸術文化連盟関係

①第46回全国高等学校総合文化祭放送部門

令和4年 8月 3日(水)～ 4日(木) 東京都大田区 片柳アリーナ

②第42回近畿高等学校総合文化祭放送部門

令和4年11月20日(日) 和歌山県民文化会館

③第43回大阪府高等学校総合文化祭放送文化部門

令和4年11月 6日(日) 大阪電気通信大学

令和4年度 役員

会長	伊藤 範子	大阪府立桃谷高等学校校長
副会長	東 秀行 西谷 公成	大阪府立堺工科高校校長 阪南大学高等学校長
会計監査	戸野 佑亮 大西 篤史	大阪府立槻の木高等学校首席 相愛高等学校教諭
書記	久下 哲也 伊藤 元也	大阪府立池田高等学校教諭 四天王寺東高等学校教諭
会計	酒井 学 藤田 大輔	大阪府立堺西高等学校教諭 阪南大学高等学校教諭
顧問	西田 恵二	府立天王寺高等学校校長

役員異動ならびに会員消息（令和5年4月1日現在）

伊藤 範子	大阪府立桃谷高校校長……………（再任用）同校校長
西谷 公成	阪南大高校校長……………（再雇用）同校教諭
戸野 佑亮	大阪府立槻の木高等学校教諭……大阪府教育センター指導主事へ
姫路 裕敏	大阪府立西成高等学校教諭……………福井高校へ

令和4(2022)年度 高校生のための放送技術講座

★第1回★

[1] 日程と内容

①4/17日(日) 番組部門 会場：大阪府立今宮工科高等学校

10:00～16:00 個別相談

・ドキュメント 講師：井村慎介先生 参加生徒4校15名

ドキュメント番組の制作について個別に指導していただきました。事前に番組の構成表まで考える宿題が出されています。

・ドラマ 参加生徒5校12名 コンテスト委員がドラマ制作について個別に相談を受け付けました。

②4/24日(日) アナウンス・朗読部門 会場：相愛高等学校

9:00～ 9:30 午前の部受付

9:30～12:30 公開個別指導(アナウンス)

講師：安田知博先生 参加生徒47名

13:00～13:30 午後の部受付

13:30～16:30 公開個別指導(朗読)

講師：仲山豊秋先生 参加生徒78名

[3] その他

6月に行われるNHK杯全国高校放送コンテストに参加するために知っておくべき情報をお伝えする動画を事前に視聴した上でご参加いただいています。

[3] 実施後のアンケートより

【先生アンケート】

<アナウンス講座>

・公開個別指導を受けることができよかったです今回の講座に間に合わせるように原稿書くことができました。

・「伝える相手」対象にとってどのようなメリットがあるのか?を端的に二文で伝えることや、今を伝えるための取材を当事者だけでなく周りの人から見てどのように感じているか?といった多面的な見方をすることが大切だということを感じました。

・他校の生徒さんの公開指導を拝見し、自校での指導へ活かせる場面が多くありました。貴重な指導を見せていただきましてありがとうございました。

・現役のプロの方から専門的かつ具体的なアドバイスは、生徒たちの学びを助けてくださいました。特に原稿の作り方や取材方法へのアドバイスは、生徒たちの気づきを促してくれました。また発声に関しても姿勢から無声にできない言葉など詳しく細やかな指導は明日からすぐ取り入れられるものばかりでした。

・同じ分野が読み方が違うだけでこんなに印象が違うものなのかと、プロの技を見せていただきました。

・伝えたい内容のまとめ方は、部活動だけでなく授業にもすぐに活かすことができます。勉強になりました。

・アナウンス方法、心構え、具体的な事例の具体的で丁寧な添削指導、どれも実践的で大変役立ちました。

・すべてのことが大変勉強になりました。「放送の言葉」も意識していなかったので、視野が広がりました。

・原稿の「核」文の順番等、原稿作成のヒントをいただきました。

<自由記述>

・オンラインと比べて、生徒たちの緊張感やPCではない放送機器を使っのアナウンスの実演は、学びの多いものとなりました。対面での講座にかなうものはないということを実感・体感しました。これからもオンラインと対面を合わせたハイブリット型で、伝える技術の向上につながると嬉しいしありがたいです。

- ・指導技術がないまま顧問となっている私のような教師にとっても、とても役立つ講座でしたありがとうございます。
- ・Nコン前のこの時期に技術講座があるのはやはりありがたかったです。
- ・このたび、初めて放送技術講座に参加させていただきました。コロナ禍ではありますが、ライブでの対面講座を開催していただき、ありがとうございました。

<朗読講座>

・「笑声」という表現。仲山先生の指導はかなり心情豊かな朗読でした。私自身の認識を改める必要を感じました。こうしたことに気づけるのも、公開指導の方に参加できたからだと思います。

・この4月から入部した生徒たちにもわかりやすく、生徒たちが納得して進んでいったと思います。特に「笑声」の話や「スピード」の話など、指導される点も、少しでも生徒たちの興味に合う話題を選んでくださっていて、朗読の奥深さもよく理解できたと感じます。

・専門外で指導ができないので、とても勉強になりました。多くの生徒さんが「自然な息遣い」をせずに発表されていたのを今までも聞いていたので、そういうものだと思っていましたが、そうではないことを知ることができたのは大きな収穫でした。

・生徒を指導する時の具体的なポイントがよくわかった。

・全体的に具体的かつ理にかなった指導内容だったと思います。生徒たちも多く学び、コンテストに向けて意識すべきことを掴むことができたかと思っています。

・一点、気になったのですが、一番目のさくらももこさんのエッセイ『あゝのころ』からの朗読ですが、これは「遠足嫌い」であった著者のモノログであり、朗読部分からもそのことを読み取ることができる内容であると思います。ですが、仲山先生の指導の中で、“たこ切り”や“ウサギになる前のりんご”について、楽しみにしているかのような指導内容のように受け止められました。もちろん、そこ以外の指導は的を射ており、公開指導を受けている生徒も上達していましたが、著者の伝えたい内容を聴き手に届けることに関しては、解釈の違いは正した方が良く感じました。

・この度、初めて参加させていただきました。高校3年生1名、最初で最後の参加となりましたが、生徒本人は対面での公開指導を大変ありがたく感じております。「が」「で」「の」の区切りをしまっていることがおかしいというアドバイスが印象に残りました。「自然な息遣いをしているか?」、「Aに関して、そのことに関して描写したところは固めて読むこと」、「笑声というものがああるということ」、「スピードの強弱」、「トーン」、「野太い声」など、一つのストーリーの中に様々なことが組み込まれていることを学びました。朗読とは、「心地よく伝わる音読ではないこと」、心の動きは細かく伝わるよう映像化できる声を足すためには、「文字を追わない努力」「相手に語りかける口調で伝えること」「音のつけ方」が大切だとわかりました。いろいろな音遣いができるように指導していきます。新入生が4人入部しておりますので、帰校後、部員にも本日の講座内容を伝え、ブラッシュアップしていきたいと思っています。可能であれば、新入生も交えて、次回の講座にも参加させていただきたいと思っております。本日は、貴重なお時間をとって公開指導をしていただき、ありがとうございました。

・短時間の中で、気になる所を目一杯教えていただき、ありがとうございました。

・一人ひとり、細かく具体的にご指導いただき、大変参考になりました。先生のアドバイスにより、各段に上手な朗読になるのを見て、指導者の力量を高める必要性を実感しました。生徒にとっても、先生から直接ご指導を受けることができたことは、とても良い経験になりました。今後の練習に生かしていきたいと思っています。

・長時間にわたり、熱心なご指導で、生徒たちの心に残ったと思います。奥深さのある分野だと思いました。

・具体的な指示で、新入生にも理解しやすい講座であったと思います。

・一貫した指導をしていただいたので、生徒たちも、その要点がしっかりと理解できたのではないかと思います。私自身、大変勉強になりました。日々の指導に生かしてまいります。

【生徒アンケート】

<アナウンス講座>

・文章の書き方や話し方マイクの調整の仕方も知れてよかったです。

・原稿を見て読むだけではダメだということがわかった。言葉遣いを意識したい。

・放送部は人のための仕事、話すより人の役に立つ内容が大事、伝える内容は核になる情報ははっきりさせて過去ではなく今のことを具体的に、など学ぶことができた。

・放送の際に生徒の皆に伝わるようにもっと緩急をつけることが重要だと思いました。私の原稿は伝えたいことの内容が表面に出ていないような気がしたので、この点を改善したいと思いました。

・校内放送の際に、伝える相手をしっかり考えながらの原稿作りを意識しようと思います。

・放送だからかたい言葉を使うと思っていたけれど、普段使うようなわかりやすい言葉を使うほうがいいのだと知りました。

・学校の人たちが興味を持ってくれているような有益な情報やニュースを取り入れたいと思いました。

・普段の放送で力が入ってしまうので、もう少しリラックスして自然な声で伝えたいです。

・原稿作りで、声に出してから文字に起こそうと思いました。

・アナウンスをする際に、語尾を伸ばさない、音域の使い方、自分の声に自信を持ちぶれないようにする、など声の使い方を知りました。

・原稿を作る際、キャッチーなフレーズ、重要な単語を含んだ分は一番前に置くことや、どういう風に伝えたい内容をまとめるか等の骨を知りました。

・先生のアドバイスを聞いて、まず本文を声を明るくして読んで、抽象的よりも具体的にわかりやすく心に届きやすい原稿、読み方を心がけようと思いました。・放送部の活動を2年間してきた中で、技術講座を生で受けることができ、とても良い勉強になりました。こういった形で他校の人たちがどのような内容で話されているのかを知ることができ、とても良い体験でした。

<自由記述>

・私は3年生ですが、コロナ禍でなかなか対面の技術講座に参加できる機会がなかったので、とても貴重な機会となりました。今回学んだたくさんのお話を吸収してNコン頑張ります。・もっと合同練習とかしたいです。

<朗読>

・今回の公開指導を聞いて、今後行われるNコンに向けて、公開指導で先生に教えてもらったことを生かしながらNコンでいい結果を残せるように頑張りたいと思いました。

・滑舌レッスンをしてほしいです。

・自分では気づけなかった部分を他の人の朗読を聞いて気づくことができました。

・他校と交流する時間があればよいと思います。

・前に映される文章の形式を統一させて、スムーズに表示されるといいな、と思いました。直接の指導を受けたわけではありませんが、本当に多くのポイントを教えていただくことができ、とても参考になりました。これから一つひとつ自分のものにしていこうと思います。

・「笑顔」「笑声」と言われたものの難しい。全力の笑声でも届かなかった。「○○ではなく◇◇という言い方にしてほしい」と言われたが、その違いが分からず、分かったとしてもオーバーアクションすぎて本番で使えないのではないかと考えた。

・今回、初めての参加だったので、公開指導はやめておこうと思ったのですが、皆さんの朗読を聞いているうちに、自分も読みたくなるぐらい、非常に有意義な時間になったかと思います。次回の技術講座では、私も参加したいと思います。また、なかなか他校の方とお話できなかったのも、グループワークのようなものを行ってみたいです。

・会場を貸して下さった相愛高校さんに感謝します。

・発声は大切なんだと改めて思いました。できれば、発声できる場所を使ってほしい。

・ずっと座っているのでお尻が痛かったです。休憩時間を増やしたらいいと思います。

・他校の先生にも、ご意見、アドバイスをいただくことができ、とても良い機会になりました。高校生活全体がコロナの中、たくさんの活動が制限されてきました。また、このような講座を開いて下さったこと、本当にありがとうございました。放送、アナウンスにおいて大切なことを、改めて確認できたように思います。とても良い経験になりました。

・各校一人程度しか公開指導を受けられなかったのも、回数を増やしてほしいです。また、部屋を分けたり講師の人を増やしたりして、もっとたくさんの方が読めるようにしてほしいです。

・同じ題材で何人もの読み方をすると、ということがあれば、個々人の違いがわかりやすいかな、と思った。

・朗読する箇所を選び方を教えていただく機会がほしいです。

・これからも、どんどん講座に参加したいと思いますので、これからもよろしくお願いします。

★第2回★

[1] 日程と内容

①8/20日(土) 番組部門 会場：大阪夕陽丘学園高等学校

13:30~14:00 受付

14:00~14:40 作品鑑賞

14:50~16:50

・ドキュメント 番組ビフォーアフター

講師 井村慎介氏(関西テレビ放送) 参加生徒18名

大阪の全国大会進出作品からピックアップし、もう1か月早くスケジュール立てが出来ていたらどのように修正できるのか。

・ドラマ 音響編集について

講師 伴 慎一 先生(高視研役員) 参加生徒15名

音響・編集基礎について学びました。

a NHK杯全体を通して ドラマづくりのポイント

b ビットレートの違いとMP3形式への変換

c SEのみを使用した番組を聴いて台本を作ってみよう&交流会

②8/21日(日) アナウンス・朗読部門 会場：四天王寺東高等学校

9:30~10:00 アナウンスの部受付

10:00~12:30 アナウンス講座・交流会 参加生徒41名

①原稿について 講師：鎌田 潤 先生(高視研OB)

②模擬審査 講師：竹中 泰子先生(高視研役員)

③私の放送活動 後輩に伝えたいこと

講師：岡田 羽叶 氏(立命館大学 プール学院高校OG)

④交流会

13:00~13:30 朗読の部受付

13:30~14:10 全国大会進出アナウンス・朗読鑑賞

14:20~16:50 朗読講座・交流会 参加生徒34名

①朗読とは何か 講師：伊藤元也先生(高視研役員)

三浦早絵先生(浪速高校顧問・OG)

②模擬審査 講師：竹中泰子先生(高視研役員)

③ワークショップ 講師：伊藤元也先生(高視研役員)

④交流会

[2] 講座のようすについて

8月20日(土) 番組講座には、各校から33名が参加しました。今年度大阪代表として全国大会に出場した作品を鑑賞した後、ドキュメント講座・ドラマ講座にわかれて主に基礎的な内容について学びました。

ドキュメント講座では、作品提出1ヶ月前には一度編集を完了し、ブラッシュアップの時間を確保するなど、主にスケジュール管理の重要性について学びました。また、ドラマ講座については主に機械操作や技術に関する知識を深めました。

8月21日(日) アナウンス朗読講座には、各校から75名が参加しました。

午前中のアナウンス講座では、大阪府高校放送部OGの岡田羽叶さんからアナウンス活動に関する心得を、午後の朗読講座では、大阪府高校放送部OGでもある浪速高校顧問の三浦早絵先生から朗読についての基本技術に関するレクチャーを受けました。

午後の最初には、今年度NHK杯や全国総文に大阪府代表として参加した生徒による報告会も実施しました。各講座の最初には、模擬審査を通して参加者同士の交流の場を設け、和やかな雰囲気での技術講座となりました。

★第3回★

[1] 日程と内容

11/6日(日) 会場：大阪電気通信大学

※午前中は、第43回大阪府高等学校芸術文化祭放送文化部門を開催

13:30～14:00 参加者受付

14:00～16:00 技術講座

アナウンス部門(講師 安田知博氏) 参加生徒37名

朗読部門(講師 仲山豊秋氏) 参加生徒32名

ドキュメント部門(講師 井村慎介氏) 参加生徒15名

ドラマ部門(講師 中井勝久先生：高視研役員) 参加生徒11名

16:00～16:30 閉会式・代表推薦者

[2] 実施後のアンケートより

【先生アンケート】

1. 午前のコンテストの運営でのご感想をお願いいたします。

<審査>

- ・大学構内からJ号館への案内掲示などしていただけるとありがたいです。
- ・朗読での原稿・計時は初めてだったので勉強させていただきました。
- ・あらかじめ著作権処理について一通り確認してくださっていたので、安心して(集中して)計時・権利処理の確認ができました。ありがとうございました。
- ・アナウンス出場者が朗読を、朗読出場者がアナウンスを聴けた展開が良かったと思います。
- ・初めて参加し、技術的な指導も未経験のため計時・原稿の担当と比較的やりやすい担当でしたが、審査となると審査ポイントがわからず難しそうです。

<運営>

- ・受付、消毒に当ていただきありがとうございました。
- ・受付で、原稿回収用のカゴがあと2つほどあれば便利かと思いました。

2. 午後の講座では、どこに参加されましたか？

アナウンス6、朗読1、ドキュ2、ドラマ1

3. 今回の技術講座について、ご感想などをいただきたく、ご協力をお願いいたします。

- ・原稿の書き方について、指導が難しく感じる人が多いので、取材や聞き手側など、多方面からアプローチの仕方を学べてよかったです。
- ・生徒の言葉を音の低さなどを強調し真似るのは不適切に感じます。
- ・「取り声」「ねーちゃん」など使う単語に注意していただきたいです。
- ・勉強させていただきました。また今後ともよろしく願いいたします。
- ・ワークショップ形式で、実際に考え、ディスカッションし、手を動かしていたので、参加した生徒には大変有意義だったと思います。

- ・施設・設備も良く、充実していたと思います。
- ・一人一人へのアドバイスをはじめ、大切なポイントをふまえた講座を行っていただきありがとうございました。
- ・私が技術的な指導ができないため、なるほどと思わせてもらえることが多かったです。この講座を参考に生徒への指導に活用したいと思います。
- ・わかりやすく、頭に残るキーワードも多く、生徒にもよく伝わっていたと思います。ご講義ありがとうございました。ワークも個人的にはすごく楽しくできました。
- ・午前中、朗読部門の生徒も、アナウンス講座を受講しました。欲を言うと両方のお話を受講できればと思いました。(全員1年生で、夏の講座も出られなかったの)
- ・事例文1から、気をつけるべき要素が複数あるため、難しかった。事例文2以降で順序を入れ替えて、易→難にしてくださいとありがたい。

4. 今後、コンテストの運営にご協力いただく事は可能でしょうか？

協力できる4 検討する1 今回と同程度であれば協力できる5 諸事情により困難2

5. その他、お気づきの点があればご記入ください。

- ・飲食可、不可などは事前にわかると助かります。
- ・大学をお借りしているので仕方ない部分があるかと思いますが、もう少しどの部屋で何をしているかの案内があったほうがよかったように思います(案内貼紙など)
- ・会場もきれいで広々していて素晴らしかったです。ありがとうございました。

【生徒アンケート】

1・2 参加した講座についてのご意見・ご感想

<アナウンス>

- ・アナウンスの原稿をどんなふうに行けば相手によりわかりやすく伝えるのか、アナウンスには正しくない表現があるのだということ、最初の1文で相手にどれだけ興味を持ってもらえるかが大切だということもわかりました。
- ・何をどのように伝えるのか具体的にわかりやすい言葉にする大切さを知ることができた。相手に伝える時、強調するところや音の下げ方を学ぶことができたので今回の放送技術講座を生かして練習していきたい。
- ・はじめての人とかではなく希望者にして欲しかった。あまりやる気のない人の公開指導は聞いて面白くなかった。でもやる気のある人の指導は勉強になった。
- ・私にも当てはまることを言っているのを聞き、次から参考にできたらと思います。公開レッスンを通して、私自身も問題点を知ることができてよかったです。次の大会に向けて、今日学んだことを活かしたいと思います。
- ・喫茶店の「すみませーん」の例が面白かった。先生方の話を聞いているうちに、今すぐ原稿を書き直したくなった。聞いている人が知りたい情報を意識して原稿を作りたいと思う。
- ・話題って大事だなと思った。自分が聞いてみたいと思う原稿にしたいと思った。
- ・アナウンスは読み方が大事だと思っていましたが、取材から読むことまで全てがアナウンスなんだと気づきました。
- ・「調べる、まとめる、伝える、動かす」は無限ループ。リード文は大事な情報は伝える部分。苦手な事は後に回す。口全体を開ける。聞いてもらいたいから興奮する。文末で声が下がる。短くしてできたら長くする。「です」をしっかり。大事な言葉は一番最初に入れず、一分目の最後から2番目の最初にする。言いたい情報を12と順番を決める。話し相手を想定する。文末をしっかりすることで聞きやすいことがわかりました。
- ・自分で前に出て指導してもらって、今まで気にしていなかったこととか、発語について聞けてすごく良かったなと思いました。多くの人の前で話す事はすごく難しくても勇気があるし、この講座を通して他校の放送部の方からも学べるのがたくさんあったなあと感じました。
- ・アナウンスをする上で1番大切な事は、何を伝えたいかを軸にすることだと改めて感じました。そのために、聞き手の立場に立つことが大切だと思いました。
- ・今回初めて、アナウンス講座に参加しました。耳からだけでなく、目から学ぶことや、聞いている相手が誰なのか、求めている情報が何か考えるきっかけとなりました。また作文を書くことから始めるのではなく、伝えることを第一として作る貴重な経験となりました。
- ・今まで意識していなかった放送の機会について目を向ける事は、「アナウンス」でも「朗読」でも必要なことなので、

今後の練習に取り入れようと思いました。「知ってる情報だけでなく誰も知らない新しい話題を見つける」「〇〇市民」など、その土地の人しか知らないものは伝え方を変えるなど自分の当たり前を押し通してはいけなくて改めて気が付きました。インタビューをしたものを自分の中でまとめるのではなく周りの人に頼るなど、クラブの人たちと取り入れたいと思うものがたくさんありました。

・早口になってしまったり、語尾が下がっていなかったりと技術講座で指導してもらえてよかったです。相手を読みたくなくなるような原稿、続きが聞きたくなるような原稿を書くことを意識して次の大会に向けて頑張りたいです。

・文章の作り方やその文章に合わせた読み方をするなど分かりました。読みやすい文章を作るのもどんな読み方をすれば伝わるのかも難しいと思いました。

・「 」の後は「話しています」にするのを次からは意識したい。

<朗読>

・他校の生徒さんが1番かっこよかったです。先輩としてあんな風にできればと思いました。もっと状況次第で動ける人になりたいと思いました。

・音の三要素について、詳しく知ることができてよかったです。特に僕は、スピード感の変化をつけることが苦手なので、今日もらったたくさんの練習用の分を使って、そういった部分を改善していきたいと思います。

・抽出箇所のコツとかをもう少し聞いてみたかったです。次のNコンへ向けてステップアップできた気がしました。

・表現方法のレパートリーを増やすことができ、とても嬉しい。できているところを褒めていただいた上で細かい指導をしてもらえたので、モチベーションに繋がられた。

・同じ言葉が複数回続くときの表現がどうしたら良いか分からなかったのが今回の技術講座で知ることができてよかったです。

・自分があまり注目することができていなかった点を詳しく丁寧に解説してくださり、とてもありがたかったです。読み方だけでなく表現の工夫についても話してくださったのでとても助かりました。

・意見や前に出て読む人は挙手制でやりたいです。前に出て読んでアドバイスが欲しかったです。

・今までどうしゃべればいいのかわからなかった部分がどう喋り、どう強弱をつけ、どう感情込めればいいのか分かりました。朗読をもっと頑張ろうと思いました。

・朗読はあんまり感情込めてはいけなかなと思っていましたが、今日の講座を聞いて感情を込めていいと教えてもらえました。他にも朗読には伝わりやすさ、作者の気持ちを理解して読むなど、聞き手の気持ちをしっかり考えることでより深みを感じられました。次の朗読では技術講座で教えてもらったことを参考にして喋りたいと思います。

・様々な事例を例文で細かく教えてくださったので、わかりやすく楽しい時間でした。教えていただいた直後に読ませていただいたので、実際に読んでみて身に付いた「実感」がしてとても勉強になりました。前説において、「朗読」そのものについての重要な部分や注意すべきポイントを教えていただいたので、その後のメインのお話がとても理解しやすかったです。

・普段練習していても、何を考えながら練習しなければいけないかと言うことを聞いたので、これからは聞き手に映像が思い浮かべてもらえるような口調をしっかりと意識して技術を高めていけるようにしようと思いました。

<ドキュメント>

・自分はまだ番組を作ったことがなかったので、番組制作までの過程を知ることができてとても参考になりました。

・最初から最後までドキドキしました。ドキュメントに参加したのですが、楽しくできたのと、とても良い勉強になりました。次に良い結果になるようがんばります。良い結果が残せてよかったです。

・みんなで意見を出し合うなど、いろいろなことが番組講座で初めてで、めっちゃ楽しかった。自分1人じゃ気がつかない発見があった！他校との交流って大切だと思いました。話し合いの中でいろいろ知れたことがあってよかった。

・「メモを普段から取る」とか「視聴者にとにかくわかりやすくする」とかこれから大切にしようと思える考えを大量に摂取することができた。今回学んだ考えをこれから実際にやっていきたい。また、放送において相手にわかりやすく伝える、語りかけると言うのは、本当に、大切だと思う。

・ドキュメントの構造やそのフローチャートなど、少しためになることができ、少し題材の定めがわかるようになってきました。ドキュメントは味のある深いものだなと聞くことができました。

・グループワーク、とても楽しかったので次回もしてほしいと思いました。ありがとうございました。

・技術講座でこういうワークショップ形式は初めてですごく新鮮に感じた。実際にやってみて手ごたえをすごく感じられた。次回以降もまた違う内容でこういうグループワークをやってみたいと思った。

・来年こそ優秀賞をとります。
・普段教わることができないことも聞けたのでよかったです。ワークショップ形式の講座で他校の人と話せたのもよかったです。

・ワークショップ型の講座で、2時間の中でインプットとアウトプットが両方できる形になっていて、力を身に付けることができたと思うし、楽しかったです。またこういう形の講座を行えたらいいなと思います。

<ドラマ>

・曲をもとにストーリーを作るのは難しかったが面白かった。
・ドラマの脚本に関するコツや、Nコンでのルールを改めて知れたので、参加して良かったなと感じた。
・ドラマを作るにあたって決めなければいけないことがわかった。伏線を作りすぎてもいけないし、回収できるように作らないといけないのが難しいと思った。
・見ている側の人の率直な意見と審査員側の専門的な意見が聞けてとても良かったです。今後のストーリー制作に活用させていただきます。ありがとうございました。

・今回の講座で学んだことを参考にストーリーを考え直したいと思います。それから、ワークで行ったことを部活でもしてみたいと思います。ありがとうございました。

・ドラマは「あ、なるほど」と思うものが結構あった。こんな展開に…とか。
・ストーリーを考えるのに大切な「設定」や「伏線」について、深く知ることができた。「人物への感情移入」「主人公の成長」がドラマにおいて重要であると強く気付かされた。伏線については「伏線は作りすぎない（←回収しきれないため）」「取材をしっかり行う（←リアリティの不足）」が大事であると勉強になった。来年のNHKコンクールに向けて、今から話を練る上で、特に意識しないところを考えさせられたように感じる。

・1つの作品を使って考えるやつを学校でもやりたいと思いました。自分が思いついたものはリアリティーがあってもオリジナリティーがないのでそこが問題だとわかりました。

3. その他、何か伝えたいことがあればお書きください。

<アナウンス>

・リード文に地名など固有名詞を入れがちなので入れなくて済むリード文の例がたくさん知りたいと思った。

・取材の進め方がわからない。

・ありがとうございました！たくさん教えてくださったことを次のNコンに活かします！

・取材から発表までゼロから教えてほしいと思いました。

・聞きやすい文章とはなんですか？

・原稿の書き方がわかっていないので、しない方がよいことなどあれば、教えて欲しいです。インタビューも情報が足りないようにするにはどうしたらいいのかも教えて欲しいです。

<朗読>

・授業としてとても有意義な時間が過ごせました。

・放送技術講座を先に行くと、審査のときの発表の質が上がりやすいと思います。このような機会に初めて参加する生徒等を対象としたものなど、レベル別に高さがあってもいいと思いました。放送技術講座はいつも素晴らしいお話が聞けて勉強になっています。本当にありがとうございます。

<ドキュメント>

・毎回だけど、勉強になることが多かった！今回は、番組の人たちみんなと交流できてよかった！

・Nコン直前にあったドラマやドキュメントに詳しい先生に質問する機会を作ってください。

<ドラマ>

・次の挑戦でできる機会があればドラマをやってみようと思いました。ありがとうございました。

・ドラマを作りたくくなりました。ありがとうございました。

★第4回★

[1] 日程と内容

1/29日(日) 会場：相愛高等学校

9:30~10:00 午前の部 受付

10:00~13:00 アナウンス講座・番組基礎講座

アナウンス講座 参加生徒20名

10:00~ 模擬審査・交流会

11:00~ グループワーク (顧問の先生方にも指導にご参加いただきました)

事前課題：自作原稿 (過去の原稿でもよい) を2部持参

番組基礎講座 参加生徒28名

10:00~ 「正しいCUEシートの書き方を教えます！」

13:30~14:00 午後の部 受付

14:00~17:00 朗読講座・ドキュメント講座・ドラマ講座

朗読講座 参加生徒25名

14:00~ 模擬審査・交流会

15:00~ グループワーク (顧問の先生方にも指導にご参加いただきました)

事前課題：第70回NHK杯指定作品の中から2分以内の抽出原稿を持参

ドキュメント講座 参加生徒16名

14:00~ ワークショップ 第70回NHK杯に向けた番組相談会

講師 井村慎介氏 (関西テレビ放送)

事前課題：①公開指導を希望する学校は番組の企画書を事前提出

②資料動画を事前に視聴

ドラマ講座 参加生徒16名

14:00~ ワークショップ 「みんなでストーリーをつくりましょう！」

講師 高視研役員

[2] 実施後のアンケートより

【先生アンケート】

<アナ朗>

- ・後半のグループ別勉強会は濃密だった。
- ・複数の教員からコメントをもらうことは勉強になる。
- ・教員にとっても、たくさんの生徒の読みを聞くことができたので、耳を鍛えることができた。

<アナウンス>

- ・模擬審査、審査の着眼点を先輩顧問の先生方から学ぶことができた。
- ・顧問にとっても勉強になった。
- ・具体的なポイントを評価に反映させる術を学べた点がよかった。
- ・参加生徒が意欲的で、刺激をもらった。

<ドキュメント>

- ・実際の企画書に対してコメントをいただけるのが大変有難かった。

<朗読>

- ・生徒たちがだんだんと上手になっていく様子を感じた。
- ・このような講座が引き続き開催されるとよいと感じた。
- ・勉強になった。

- ・ペアとなった先生は様々なテクニックをお持ちで、学びが多かった。
- ・生徒たちの、少しでもアドバイスを吸収しようとする姿勢が素晴らしかった。
- ・講座を対面で実施できることが大切だと再確認した。
- ・もう少しグループを細かくしてもらえるとゆっくりできた。
- ・充実した講座だった。ペアの先生に助けていただき、有難うございました。
- ・1つのグループの時間をしっかりとった方がよかった。(少し時間を削らざるをえなかった場面があった)

<CUEシート>

- ・権利処理関係まで詳しく学べてよかった。
- ・どのようなところに気を配ればよいかというポイントが分かった。生徒たちにもわかりやすい内容で、顧問にとっても勉強になった。
- ・報告号に番組進行表のデータがついているので、それを参考にするようにアナウンスした方が後学につながると感じた

<ドラマ>

- ・自己満足的なものを作るのではなく、広く人に伝えたいことを意識するというメッセージを有難うございました。
- ・見落としがちな視点をバシッと教えていただき、生徒たちにもぐっと伝わっていたように思います。
- ・グループワークがとてもよかった。
- ・先生のおすすめする映画やドラマを教えてもらえるとよかった。

<その他>

- ・会場までの道中に先生方が立ち番をしていただき、細やかなご配慮に感謝申し上げます。

【生徒アンケート】

<アナウンス>

- ・他の学校の人の意見を聞いたり、自分では気づかないところに対しての意見が聞けたりしたので、とてもよかったです。たくさん先生方に、色々な部分に対して指導していただけたので、これからも活かしていきたいと思いました。
- ・沢山の方たちの意見が聞けてよかった。自分だけが分かる文を書くのではなく、いろいろな方が聞いても「あ〜なるほど」というような文や読み方をする。伝える力が大切。
- ・自分の苦手なところの再確認と新しい課題を発見できたので、また是非やりたいと思いました。
- ・グループで意見を交換できたり、ローテーションでいろいろな人のアドバイスもすごくためになったので、良かったと思います。
- ・1人1人にしっかりと教えていただき、すごく意味のある練習になりました。グループワークなどがある事で、一緒の人にはなるけど、濃い仲になって、これからも互いに高め合っていけるのかなと思います。
- ・まだまだ自分は伸びるなと思いました。1年生なのにすごいね！と言ってもらえるように、自信を持って頑張りたいと思います！！
- ・生の声をいただけるのってとてもありがたい！今後の参考にさせていただきます！！あともう1時間アナウンス講座やりたかったなあ…
- ・ただしゃべる(アナウンス)だけじゃなく、他の人の声(アナウンス)も聞くことが大事。声(アナウンス)をきいて、何が良くて、何が悪いのか、考える(審査)ことも大事だなと思いました。アナウンスをもっと頑張ろ！
- ・まだまだ原稿に修正する箇所があることが分かったし、相手に伝わりにくい、または別の解釈をさせてしまっている、ということに気づきました。また、読みに関しても、まだまだ直せる箇所があるので、今後の練習で直していきたいです。
- ・色々な先生に指導していただき、「さらに向上したい」という気持ちが強くなった。
- ・全国大会準決勝の模擬審査が楽しかった。
- ・模擬審査では、色々な意見があり楽しかった。もっと耳を鍛えていきたい。
- ・重点的に取材をする点分かった。

<朗読>

- ・いろんな講師の方のいろんな意見を取り入れるごとに、うまくなっている気がしていき、楽しみながら練習することができた。抽出部分の良し悪し、読み方のスピードと強弱、感情の高低・・・講師の方によって貴重な意見をたくさんいただくことができたので、とても良い機会になりました。

- ・色々な先生方の意見を知ることができて、とても充実した一日になりました。他の人の朗読を聞くことができ、自分の欠点や改善点を知ることができたのでよかったです。
- ・自分の弱点が、より具体的にわかったので、「漠然と勉強」よりピンポイントで学べて、わかりやすかった。周りの人の意識している所なども学べ、他の人に並ぶにはどうすればいいかわかった。立てるべきところや、自分ではわからない発声の弱点などもわかってよかった。
- ・自分は1年生で、まだ朗読のことがわかっていませんが、辛口審査でどこが改善点なのか、しっかり分かりました。この改善点を次に生かします。
- ・自分が読んでいて気づけなかったところに気づくことができた。文章を知らない人に読むことで、新しい発見がたくさんあった。もっと相手に伝えられるように工夫して読んでいこうという意識が今まで以上に高まった。今日、教えてもらったたくさんの方のことを、普段の練習でも生かせるようにしていきたい。
- ・私は今年のNコンが初めてで、技術講座も初めて参加したので、周りの方の技術、熱気に圧倒されたところもありましたが、いい刺激をもたえたような気がします。先生方にも丁寧なアドバイスをたくさんいただいたので、また持ち帰って色々改善できるように努力したいと思います。また、同じグループ内で、たくさんアドバイスももらえたので、無駄にならないようこれから練習を頑張ります。
- ・顧問の先生一人ひとりにしっかりしっとうしていただけて、とてもいい経験になりました。他に参加した生徒さんとも少しお話してみたかったなと思いました。
- ・3人の模擬審査をさせていただいて、それぞれの着眼点が違った意見がでてきて、とても面白かったです。顧問の先生方が、丁寧に指導してくださり、すごく密度の濃い時間を過ごせました。
- ・周りに自分より上手な同年代の生徒が多くいてくれたので、自分のレベルを実感することができました。たくさん顧問の先生方からアドバイスをいただくことができ、とても勉強になりました。どのアドバイスも的確で、やっぱり顧問の先生方はスゴイなと思いました。
- ・自分がもらったアドバイス以外にも、他の人がもらったアドバイスを自分に当てはめるようなこともできた。先生に質問した内容以外にも、役に立つことをたくさん知ることができたので、これからの練習に生かそうと思った。
- ・ほんとうに朗読は難しいなと思いました。文章は、よく考えてやっていきたいです。やはり滑舌は難しいです。本当に練習しても、何が起きているのかを考えながら、頑張っていきたいです。今日教えてもらったことに気をつけ、これからも成長したいです。今日朗読をしてみて、自分にはなりたいたいこととやれることの差は大きいと思いました。頑張ろうまくなります。
- ・今までと全く違う環境で、放送部の先輩・同級生から刺激をととても受けました。どのような課題が自分にあって、上手な人はどのように読んでいるのか、息づかいはどうなのか、スピードはどうなのか等、とても書ききれないほどの気づきをいただきました。先生方が教えてくださることは、どれも今まで気づけなかったことばかりで、読んでくださるのを聞いて、こんなにもわかりやすくきれいに読めるのか！！と、とても衝撃を受けました。謙虚に、もっと頑張ります。

<CUEシート>

- ・去年少しだけCUEシートの手伝いをしたことがあったから、大丈夫だろうと思っていたのですが、自分は何もわかっていなかったんだと知りました。著作権とかが全く分からなくてよく先輩や先生に聞いてばかりなのですが、自分も先輩に来年なるから、きちんと調べようと思いました。もう少し著作権のことについて技術講座で取り上げていただけると嬉しいです。
- ・番組の基本から知ることができた所がとてもよかったです。番組進行において重要な点や間違えたら減点される所などを知って、番組制作だけでなく、CUEシートなどの細かい所にも気をつけようと思いました。
- ・番組の設計図のごとくであるCUEシートは、その権利の複雑性や外国の曲があれば権利費用がいるんだということに驚きました。知らないことをたくさん知りました。著作権でしらないことが多いので、しらべながらやっていきます。
- ・いろいろなところ(減点される所)を教えてもらいました。いい経験になりました。
- ・なかなか学校ではCUEシートの書き方や注意点について、教えてもらえないので、危険な例を交えて講義いただいたのは今後の活動に生かせそうだと感じました。CUEシートの内容だけでなく、番組進行表について詳しく教えてもらった
- ・レジュメを作成し配布してもらったことで、講座の内容をすぐに見直せてメモの中身も思い出せるので嬉しい。

- ・新入生への説明へも活用したい。
- ・質問ができた点がよかった。

<ドキュメント>

- ・自分の企画についてのアドバイスや企画の立て方などを教えてもらったのがとてもよかったです。
- ・他校の企画書を読んで、学べることがたくさんありました。社会的問題、単純な話題だと、取材範囲に限られるのと、専門家に頼らないということでした。
- ・ドキュメントのあり方に関して改めて考えなおし、表と裏をまとめて自分自身で伝えるということにドキュメントの深さをよく知れたと思いました。
- ・他校の番組含め、ここから同試行を広げていくべきかなんとか見えてきました。その他、番組をより説得力や共感しやすいものにするポイントを知ることができて、有意義な講座にすることができました。
- ・今回教えていただいたものをもとに制作していこうと思いました。特に井村先生のアドバイスは自分たちのためになるものがたくさんありました。
- ・自分の作った企画を、ビシバシ指摘され、しっかりブラッシュアップをしたいと思いました。自分ではわからなかった部分がわかった気がします。
- ・意見交換の場は、1つの番組に対して色々な意見がもう少しききたいと思いました。
- ・厳しいアドバイスを沢山もらって次にどういう構成をするのかを改めて学びました。今回初めてテレビを作らせて頂くのですが、最初から厳しい意見、アドバイスをもらえたおかげで、ブラッシュアップをしたいなと思いました。

<ドラマ>

- ・1時間で一つの話をするだけで、様々な意見や台本が作れると知り、驚いた。
- ・次に台本を書く時に活用したい。
- ・自分が軽く作ったものをベースに制作したが、オチの甘さを思い知らされた。「こういう受け取り方をされるんだ」「こんな発想が出てくるんだ」を肌で感じる事ができた
- ・自分で考える時間があつたので、わかりやすく、身に付いた気がする。
- ・初対面の人とでも、1時間話すことで、ストーリーを考えることができて話が進んだ。
- ・部活のときも、もっと意見交換を活発にしていきたいと思った。
- ・条件を出してもらったうえで脚本を書いたところがよかった。
- ・とても緊張したけど、充実した講座だった。楽しかった。
- ・これまでドラマに触れる経験はなかったが、この講座は楽しかった。
- ・知らない意見や思いつかない発想がたくさんあって面白かった。
- ・初対面の人と話すことが楽しかった。
- ・これまで脚本は一人で考えていたが、ディスカッションしながら考える作業が楽しかった。
- ・これまでドラマの脚本の作り方の知識が全くなかったので、考え方、ネタの出し方等を学ぶことができて良かった。
- ・自分の学校では行っていない脚本の作成方法を学べたことがよかった。
- ・初対面の人とフランクに話ができ点よかった。

<その他>

- ・休憩をこまめに取ってほしかった。
- ・「カメラワークとか、ドキュでこれは絶対するべきこと」「字幕のいいつけ方」などの講座もやっていただけたらうれしいです。
- ・兵庫県から今回参加して、自分の県では学べないことがたくさん学べたので、よかったです。また機会があれば積極的に参加したいと思います。
- ・少しの時間で実践できる場を入れてほしい。
- ・空調のついていない時間帯があり、少し寒かったです。
- ・Nコン直前の回で、昨年と同じような個別で質問できる場を作ってほしいです。

第69回NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会の報告

放送コンテスト委員会

表題の大会を今年度は、いろいろな制約の中行うことができました。それについて、報告をします。

予選	アナウンス・朗読部門 番組部門	6月4日(土) 6月5日(日)	データによる非公開審査 データによる非公開審査
決勝	番組部門 アナウンス・朗読部門、 研究発表	6月18日(土) 6月19日(日)	公開審査 会場：たかつガーデン 公開審査 会場：相愛高等学校
予選	参加校(エントリー)	39校	アナウンス 42名 朗読 118名 番組 ラジオドキュメント 4作品 テレビドキュメント 4作品 ラジオドラマ 9作品 テレビドラマ 6作品 研究発表 2作品 ※内訳はあとの表1に示します。

決勝

[アナウンス決勝課題]

家族の世話や介護をしている子どもたち、いわゆる「ヤングケアラー」の支援につなげようと、大阪府教育庁は、教育や福祉の専門家「スクールソーシャルワーカー」を増員する方針を固めました。

ヤングケアラーを巡っては、大阪府が、去年、すべての府立高校の生徒を対象に実態調査を行い1300人あまりが、「世話をしている家族がいる」と答えたことがわかっています。

このうちの半数以上が、「周囲に相談した経験が無い」と回答したことから、大阪府教育庁は、ヤングケアラーを支援する体制が必要だとして、府立高校のスクールソーシャルワーカーを増員する方針を固めました。

大阪府は、増員する人数などを検討した上で、新年度予算案に反映させることにしています。今回の調査結果の分析に加わっている大阪歯科大学の濱島淑恵(はましま・よしえ)教授は、「今回の結果をさらに分析し、ヤングケアラーの支援につなげるための目安を、学校や福祉の現場に示してゆく必要がある」と話しています。

[朗読決勝課題]

「ただ、向こうはタレントだと気付いていなくて。
『すいません、実は俺……スギちゃんなんです』って断った」
映像使用の許可云々といった、先方の面倒を気遣ってのことだったが、
「なんで？折角テレビに映れるのに！」
とお冠の奥様。
「そのために私はあなたを連れてきてるの！」
……妻の言葉に、とある出来事が夫の頭を過った。

(山田ルイ53世「一発屋芸人列伝」中「スギちゃん」より)

審査員<敬称略>

<番組制作部門>

橋爪紳一郎(NHK大阪放送局)、伊藤恵子(大阪府立桃谷高校長:高視研会長)、小畑敦彦(大阪府立貝塚高校長)、久下哲也(大阪府立池田高校:高視研役員)、酒井学(大阪府立堺西高校:高視研役員)、姫路裕敏(大阪府立西成高校:高視研役員)、吉新聖二(大阪府立三島高校:高視研役員)

<アナウンス・朗読部門>

堀井洋一(NHK大阪拠点放送局)、伊藤恵子(大阪府立桃谷高校長:高視研会長)、秋本みゆき(大阪府立高校:高視研役員)、伊藤元也(四天王寺東高校:高視研役員)、鎌田潤(元放送コンテスト委員長)、田名瀬さゆり(府立桜塚高校:高視研役員)、安田知博(「放送部インストラクター」)

決勝の結果はあとの表2に示します。

今回も番組とアナウンス・朗読で分散開催しました。

朗読へのエントリーはやはり多いです。番組も昨年よりも多くのエントリーがありました。研究発表のエントリーもありました。

今回も、「感染拡大防止」の観点から大人数で集まることを避けるため、昨年のように予選はデータ審査で行いました。決勝も大きな混乱はありませんでした。

運営について、予選では、参加校の顧問の先生方に審査をお願いしました。土曜日に審査を行いましたが、私学各校は土曜日に授業を行っている学校が多く、「審査員の辞退」が何名かありましたが、無事に終わりました。

決勝も昨年のように人数を制限し、アナウンス・朗読部門では、発表後のマイクやテーブルの消毒をその都度行いました。

結果発表も当日にできました。決勝がライブ開催できたことは生徒たちが生き生きとしていて、運営側として開催ができて本当に良かったです。

今回の運営を振り返り、次回に向けて検討していきたいと思います。

追記

今回のアナウンスの入賞者の一部が、東大阪市で行われたNHK大阪放送局のイベント「舞い上がれ パブリックビューイング」で、イベント前と後の場内アナウンスを担当しました。

「放送部の生徒さんにも参加してもらえたら」とお声かけいただきました。

このような機会をつくっていただき、ありがとうございます。

(大阪夕陽丘学園高等学校 中井勝久)

表1 第69回NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 参加校および参加部門一覧

通番	申込No.	学校名ー正式名称	アナ	朗読	Rドキュ	Tドキュ	Rドラマ	Tドラマ	研究発表	参加人数
1	1	宣真高等学校	3	0	0	0	0	0	0	3
2	2	東大谷高等学校	1	4	0	0	0	0	0	5
3	3	大阪府立旭高等学校	1	8	0	0	0	1	0	10
4	4	関西学院千里国際高等部	0	2	0	0	0	0	0	2
5	5	プール学院高等学校	1	3	0	0	0	0	0	1
6	6	大阪府立北野高等学校	1	0	0	0	0	0	0	1
7	7	大阪府立天王寺高等学校	0	4	0	0	0	0	0	9
8	8	上宮高等学校	1	4	0	0	0	0	0	21
9	9	大阪府立いちりつ高校	0	6	0	1	0	0	0	11
10	10	大阪府立泉陽高等学校	1	0	0	0	0	0	0	7
11	11	金光大阪高等学校	0	0	1	0	0	0	0	5
12	12	四天王寺東高等学校	3	4	0	1	0	0	0	12
13	13	帝塚山学院高等学校	2	3	0	0	0	0	0	9
14	14	大阪青凌中学高等学校	1	1	0	0	0	0	0	8
15	15	桃山学院高等学校	2	5	0	0	0	0	0	7
16	16	近畿大学附属高等学校	0	6	0	0	0	0	0	18
17	17	関西創価高等学校	0	2	0	0	0	0	0	29
18	18	大阪国際高等学校	0	2	0	0	0	0	0	2
19	19	大阪府立池田高等学校	1	0	0	0	0	0	0	6
20	20	アサンブション国際高等学校	0	5	0	0	0	0	0	5
21	21	関西大倉高校	0	2	0	0	0	1	0	9
22	22	東海大学付属大阪仰星高等学校	0	3	0	0	0	0	1	6
23	23	大阪府立槻の木高等学校	2	2	0	0	1	0	0	6
24	24	相愛高等学校	6	7	1	1	0	0	0	20
25	25	大阪府立豊中高等学校	0	4	0	0	0	0	0	4
26	26	大阪府立箕面高等学校	6	0	0	0	1	0	0	7
27	27	堺リベラル中学校高等学校	0	0	0	0	1	0	0	20
28	28	大阪学芸高等学校	0	2	0	0	0	0	0	2
29	29	箕面自由学園高等学校	1	14	1	1	3	2	0	15
30	30	大阪府立今宮工科高等学校	0	0	0	0	2	0	1	13
31	31	大阪府立富田林高等学校	4	0	0	0	0	0	0	8
32	32	大阪府立三島高等学校	0	0	0	0	0	1	0	10
33	33	浪速高等学校	1	6	0	0	0	1	0	7
34	34	大阪府立みどり清朋高等学校	0	2	0	0	0	0	0	7
35	35	大阪府立堺西高等学校	1	5	1	0	1	0	1	7
36	36	大阪府立西成高等学校	0	3	0	0	0	0	0	9
37	37	大谷学園 大谷高等学校	1	5	0	0	0	0	0	6
38	38	大阪府立岸和田高等学校	2	0	0	0	0	0	0	10
39	39	阪南大学高等学校	0	4	0	0	0	0	0	4
		合計	42	118	4	4	9	6	3	341

表2 第69回NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 決勝 結果

アナウンス部門

	審査順	学校名	生徒名前	全国大会
1位	5	大阪府立箕面	安井 梨乃	
2位	9	プール学院	栗飯原 優衣	入選(準決勝進出)
3位	13	相愛	中脇 凜	
4位	7	相愛	橋口 百花	
5位	11	大阪府立池田	山下 芽泉	
6位	2	相愛	上田 奈々葉	
入選	12	四天王寺	岡崎 玲奈	
入選	14	帝塚山学院	今田 理子	
入選	15	大阪府立箕面	福本 稜馬	
入選	18	宣真	岡橋 ひな	

ラジオドキュメント部門

	審査順	学校名	作品名	全国大会
1位	3	箕面自由	未来の私たちに告げる	
2位	4	相愛	つなぐ、オルガニスト	制作奨励賞(準決勝進出)
3位	2	四天王寺	未来の答えは…?	
4位	1	金光大阪	空想トラベル	

テレビドキュメント部門

	審査順	学校名	作品名	全国大会
1位	3	相愛	久保さんとの新しい高校生活	入選(準決勝進出)
2位	2	大阪府立いちりつ	ナゾの銅板	
3位	4	四天王寺東	成田先生はすぐ休む!!	
4位	1	箕面自由	現実を見つめて	

朗読部門

	審査順	学校名	生徒名前	全国大会
1位	20	相愛	辻本 明日美	入選(準決勝進出)
2位	8	相愛	山本 有里	
3位	25	相愛	林 夏香	
4位	23	大阪府立いちりつ	濱田 柚音	
5位	27	大阪府立堺西	三崎 歩菜	
6位	22	大阪府立槻の木	宮崎 美咲	
入選	2	相愛	平 みとあ	
入選	19	アサンブション国際	井上 愛彩	
入選	21	箕面自由	矢森 楓大	
入選	24	桃山学院	吉村 菜生	

創作ラジオドラマ部門

	審査順	学校名	作品名	全国大会
1位	1	大阪府立箕面	リングアップ・リンク	制作奨励賞(準決勝進出)
2位	5	大阪府立今宮工科	自分	
3位	3	堺リベラル	みつごのカチ	
入選	2	大阪府立今宮工科	心の花	
入選	4	箕面自由	アズプラネット	

創作テレビドラマ部門

	審査順	学校名	作品名	全国大会
1位	4	大阪府立旭	推しすぎて、	
2位	2	箕面自由	伝えたい気持ち	
入選	3	浪速	拝啓 おばあちゃんへ	
入選	1	関西大倉	不破ふわ物語	

校内放送研究発表会

	審査順	学校名	発表名	全国大会
研究奨励	2	大阪府立今宮工科	正しい卵パックの使い方	研究奨励賞
研究奨励	3	大阪府立堺西	放送台本が書けない!!	研究奨励賞
入選	1	東海大付属大阪仰星	急募!部員求ム!	

総合優秀校

	得点	学校名
1位	100	相愛
2位	53	箕面自由
3位	33	大阪府立箕面

全国大会結果

第69回NHK杯全国高校放送コンテスト
アナウンス部門決勝

	県名	校名	氏名	学年
優勝	福岡	フクオカ 福岡県立福岡高等学校	ナカハラ ハルカ 中原 陽花	3
準優勝	青森	ヒロサキ 青森県立弘前高等学校	サウ マリコ 佐藤 穂子	2
優秀	山梨	ヨシダ 山梨県立吉田高等学校	ナカノ アイコ 中野 愛子	3
優秀	長野	ウエダ 長野県上田高等学校	アマリ ヒナタ 甘利 陽向	3
優良	熊本	トウリョウ 熊本県立東稜高等学校	シマダ モエ 嶋田 萌恵	3
優良	福岡	チゲンシヨウケン 筑紫女学園高等学校	イホ シリオ 飯干 莉緒	3
優良	長崎	イサハヤ 長崎県立諫早高等学校	コガミキ 古賀 美希	1
優良	佐賀	サカセウ 佐賀清和高等学校	ホツタ ヒロミ 堀田 広海	3
優良	長崎	ナカサキキタ 長崎県立長崎北高等学校	ワタナベ サワ 渡邊 紗羽	3
優良	長崎	カッスイ 活水高等学校	ワタナベ アイ 渡辺 あい	3

第69回NHK杯全国高校放送コンテスト
朗読部門決勝

	県名	校名	氏名	学年	作品
優勝	石川	カナサワイスミカオカ 石川県立金沢泉丘高等学校	オクダ カイト 奥田 開斗	3	1
準優勝	香川	タカマツタイチ 高松第一高等学校	ヤマシ マイチ 山地 舞奈	3	3
優秀	長崎	オオムラ 長崎県立大村高等学校	クロカワ キンナン 黒川 銀杏	3	3
優秀	神奈川	コウホク 神奈川県立港北高等学校	トリコエ サヤカ 鳥越 彩花	2	3
優良	北海道	オビヒロサンショウ 北海道帯広三條高等学校	オウラ ソウ 小川 創	2	2
優良	長崎	ナカサキニシ 長崎県立長崎西高等学校	イヌツカ ソウヘイ 犬塚 湊平	3	3
優良	宮崎	コハヤシユウホウ 宮崎県立小林秀峰高等学校	イノウエ ヨウ 井上 翼斗	3	3
優良	佐賀	サカセウ 佐賀清和高等学校	ヒクチ ソウ 樋口 奏	3	3
優良	長崎	シマハラ 長崎県立島原高等学校	ヨシオカ アス 吉岡 杏珠	2	3
優良	神奈川	コウホク 神奈川県立港北高等学校	ワタナベ ユウカ 田邊 結花	2	3

第69回NHK杯全国高校放送コンテスト
ラジオドキュメント部門決勝

	県名	校名	作品名
優勝	佐賀	サカセウ 佐賀清和高等学校	ココロハコフ 心をはこぶ
準優勝	兵庫	オノ 兵庫県立小野高等学校	ボンデイス ウエイ born this way
優秀	兵庫	ホクセツサンタ 兵庫県立北摂三田高等学校	イナチノキスナ いのちの絆
優秀	島根	ハマダ 島根県立浜田高等学校	ガッコウノミスガミスイ 学校の水がまずい

第69回NHK杯全国高校放送コンテスト
テレビドキュメント部門決勝

	県名	校名	作品名
優勝	北海道	オビヒロサンショウ 北海道帯広三條高等学校	セイ Say
準優勝	三重	タカ 高田中・高等学校	【シユウヨウ】カナラスミテタサイ。 【重要】必ず見てください。
優秀	宮城	センタ イシヨウキョウ 仙台市立仙台商業高等学校	トキマスカ?ワタシノコエ とどきますか?私の声(Coe)
優秀	北海道	ハコタテチユウフ 北海道函館中部高等学校	センセイ、コレって本当に聞いたんですか? 先生、これって本当に聞いたんですか?

第69回NHK杯全国高校放送コンテスト
創作ラジオドラマ部門決勝

	県名	校名	作品名
優勝	兵庫	ヒカシハリマ 兵庫県立東播磨高等学校	ヒョウケンツツオンライノコウトウカッコウ 兵庫県立オンライン高等学校
準優勝	長野	オカヤマミ 長野県岡谷南高等学校	ヒョウトウナミライ 平等な未来
優秀	宮城	センタ イニカ 宮城県仙台二華高等学校	アナネイロモウイイト あの音色をもう一度

第69回NHK杯全国高校放送コンテスト
創作テレビドラマ部門決勝

	県名	校名	作品名
優勝	埼玉	マツヤマ 埼玉県立松山高等学校	キイチ。 聞いて。
準優勝	埼玉	フカヤタイチ 埼玉県立深谷第一高等学校	ニンゲンツツ ニンゲンって
優秀	宮崎	ミヤサキニチタイ 宮崎日本大学高等学校	アメニモマケズ 雨ニモマケズ

芸文祭 報告

(「第43回大阪府高等学校芸術文化祭 放送文化部門」報告)

第43回大阪府高等学校芸術文化祭は、令和5年1月21日の開会行事部門を皮切りに、ドーンセンターや大阪私学会館などを会場として開催されました。

放送文化部門はこれに先駆け、令和3年11月6日(日)に大阪電気通信大学で開催しました。

午前中にアナウンス・朗読・番組部門の発表と審査を行いました。これは、次年度8月2日～8月4日に鹿児島県で行われる第47回全国高等学校総合文化祭鹿児島大会(2023 かがしま総文)における大阪府代表の選考を兼ねています。

午後は当日の発表をふまえた技術講座を実施しました。技術講座については、「第3回高校生のための放送技術講座」のページをご参照ください。

09:30～10:00 アナウンス部門・朗読部門・番組部門受付

10:00～10:15 開会式

10:20～13:00 アナウンス部門・朗読部門・番組部門公開審査

16:00～16:30 結果発表・表彰・閉会式・代表推薦者・推薦校への連絡

参加校は19校、アナウンス30名、朗読29名、ラジオ番組2作品、テレビ番組9作品でした。(番組自由部門には参加がありませんでした。)

結果は別表の通りです。

なお、今年も例年通り、開会行事(1月21日)の司会進行および部門紹介(録音)は、放送文化部門のアナウンス部門での優秀賞・奨励賞受賞者が担当しています。

近総文報告

(「第42回近畿高等学校総合文化祭(和歌山大会)放送部門」報告)

第42回全国高等学校総合文化祭和歌山大会は、令和4年11月20日(日)に、和歌山市の和歌山県民文化会館で開催されました。

大阪府からは下記の出場者、出場校が代表として参加し、2組が優秀賞を受賞しました。

アナウンス部

福本 涼馬(府立箕面) **優秀賞** 小西 葵(桃山学院)

朗読部門

平 ゐとあ(相愛) 井上 愛彩(アサンプション国際)

ビデオメッセージ部門

浪速高校 『黒い箱の秘密』(制作代表 大里卓也)

今宮工科高校 『生活の足』(制作代表 久本未空) **優秀賞**

2022年度
第43回 大阪府高等学校芸術文化祭 放送文化部門
優秀賞・奨励賞 一覧

2022/11/06 実施

は 来年度実施の「2023かごしま総文」へ大阪府代表として推薦する

■アナウンス部門

	審査順	校名	名前
優秀賞	2	相愛高等学校	橋口 百花
	14	相愛高等学校	上田 奈々葉
	21	大阪府立箕面高等学校	池邊 鈴花
奨励賞	5	プール学院高等学校	粟飯原 優衣
	9	桃山学院高等学校	小西 葵
	11	大阪府立いちりつ高等学校	道家 晴菜
	20	大阪府立池田高等学校	山下 芽泉

■朗読部門

	審査順	校名	名前
優秀賞	5	相愛高等学校	辻本 明日美
	23	大阪府立箕面高等学校	福本 稜馬
	24	相愛高等学校	山本 有里
奨励賞	4	浪速高等学校	大里 卓也
	7	桃山学院高等学校	吉村 茉生
	14	大阪府立いちりつ高等学校	濱田 柚音
	22	プール学院高等学校	中谷 鈴果
	25	浪速高等学校	高木 咲月

■ラジオ番組部門

	審査順	校名	作品名
優秀賞	2	相愛高等学校	クマの手カフェ
奨励賞	1	箕面自由学園高等学校	イツカクセンキン? 一攫千富!

■テレビ番組部門

	審査順	校名	作品名
優秀賞	2	箕面自由学園高等学校	和泉に煌めく蜻蛉玉
	9	四天王寺東高等学校	向かい風は追い風に
奨励賞	3	大阪府立堺西高等学校	伝統沈没
	5	大阪府立池田高等学校	チキチキグルメを召し上げれ
	6	相愛高等学校	大阪の食品サンプル文化

(当日の審査順)

全総文報告

（「第46回全国高等学校総合文化祭（東京大会）放送部門」報告）

第46回全国高等学校総合文化祭「とうきょう総文」放送は、令和4年8月3日（水）～4日（木）に、片柳学園日本工学院専門学校蒲田キャンパスで開催されました。

大阪府からは下記の出場者、出場校が代表として参加しました（今回、大阪府から優秀賞、審査員特別賞ともに該当はありませんでした）。

なお、とうきょう総文公式（東京都教育庁）は、通信（PDF）やYouTube動画を現在も公開していますので、ご参照ください。

通信第38号②③> https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/files/letter/38_02.pdf

YouTube動画> <https://www.youtube.com/watch?v=xwBotoeKWnU>

また、上述の「第43回大阪府高等学校芸術文化祭 開会行事」において、池田高校放送部が放送部門についてスライドと音声で報告を行いました（内容は次のページに引用しています）、

アナウンス部門

上田 奈々葉（相愛）、安井 梨乃（府立箕面）、神舘 広海（相愛）

朗読部門

辻本 明日美（相愛）、山原 優喜（浪速）、榎本 葵（四天王寺）

オーディオメッセージ部門

箕面自由「それでもタブーと向き合った」

ビデオメッセージ部門

四天王寺東「繋がりの飴細工」 池田「笑いでコロナを吹き飛ばす」



参加報告（大阪府立池田高校放送部）

<全体>

私たちは放送部門に参加しました。8月3日は35度を超える猛暑、翌4日は時折雨が降る天候の中、大会が行われました。代表者が集まったとき、順番が近い人とお話をする機会もあり、少し緊張が和らぎました。行きの新幹線が1時間以上遅れて開会式に間に合わなくなるなどハプニングもありましたが、とても濃密な2日間になりました。

<アナウンス>

アナウンス部門は、自分で取材した様々な地域的话题を1分30秒で伝えました。ライブでの発表で、緊張感に包まれた中、皆さん堂々と発表を行っていました。抑揚のついた落ち着いた話し方で、内容を分かりやすく届けようとしていることがよく伝わってきました。また、1文目を大きめの声ではっきりと読むことによって、聞き手が話題に興味を持ちやすくなることがわかりました。

<朗読>

郷土の作品を選ぶ朗読部門では、方言も相まって人物像がはっきりと伝わってきました。同じ作品でも人によって演じ方や語り口が違い、聞いていてあきない、むしろワクワクして聞き入ってしまう発表でした。耳から入るのは声だけなのに、その場面が目の前に鮮明に浮かび上がってくるようでした。会場全体が物語の世界に引き込まれるので、一体感がありました。

<VM>

ビデオメッセージ部門では、5分という短い時間の中で地域の情報がとても詳しくまとめられている作品がたくさんありました。人物や施設だけでなく、食文化や景観など多種多様で驚きました。また、テロップの表示の仕方や映像の速度などを工夫することで、強い印象を与えたり、わかりやすく伝えられるということを感じました。

<AM>

音声のみで情報を伝えるオーディオメッセージ部門では、動物の鳴き声や風鈴の音など、音に関連しているテーマが多く感じました。また、ビデオメッセージと比べて、ナレーションが丁寧で細かい説明も多かったと思います。音にメリハリがあったり、効果音が上手に使われていると、場面の切り替えなどがわかりやすく、聞き手が想像しやすくなることがわかりました。

令和4年10月7日

近畿各府県・市町村教育委員会様
各保育所(園)・幼稚園・こども園・小学校・中学校長様
各高等学校・特別支援学校長様
各所・園・学校 放送・視聴覚教育関係者様

令和4年度
第71回近畿放送教育研究大会 和歌山大会(2次案内)
第72回近畿学校視聴覚教育研究大会

近畿放送教育研究協議会会長 十河 秀敏
近畿学校視聴覚教育連盟会長 伊藤 浩史
和歌山大会現地実行委員長 三宅 秀夫

中秋の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は放送教育・視聴覚教育の充実のためにご指導とご協力を賜りありがとうございます。さて、第71回近畿放送教育研究大会並びに第72回近畿学校視聴覚教育研究大会和歌山大会を11月に和歌山市を中心に開催することになりました。さまざまなメディアを活用する情報化社会において、放送・視聴覚教育の果たす役割もますます重要になってきました。生き生きと活動する子どもたちの姿をご覧いただくと共に、ご報告いただく実践などを中心に研究協議を重ね、これからの放送・視聴覚教育を考えていきたいと思っております。どうか多くの先生方にご参加いただき、研修を深めていただきたく、ご案内申し上げます。

大会主題 『豊かな感性と確かな学力を育てる、教育メディアの活用』
～思考力・判断力・表現力等の育成をめざして～

1期日 令和4年(2022年)11月10日(木)

2会場

和歌山県民文化会館 (〒640-8269 和歌山市小松原通り1-1 ☎073-436-1331)

保育所(園)・幼稚園・こども園 和歌山市立和佐幼稚園 (〒649-6324 和歌山市禰宜949 ☎073-477-0167)

小学校 和歌山大学教育学部附属小学校 (〒640-8137 和歌山市吹上1-4-1 ☎073-422-6105)

中学校 和歌山大学教育学部附属中学校 (〒640-8137 和歌山市吹上1-4-1 ☎073-422-3093)

高等学校 和歌山県立和歌山商業高等学校 (〒640-8272 和歌山市砂山南3-3-94 ☎073-424-2446)

特別支援学校 和歌山大学教育学部附属特別支援学校 (〒641-0031 和歌山市西小二里2-5-18 ☎073-444-1080)

3主催 全国放送教育研究会連盟 日本学校視聴覚教育連盟
近畿放送教育研究協議会 近畿学校視聴覚教育連盟
和歌山県放送教育研究協議会 和歌山市視聴覚教育研究会

4共催 NHK和歌山放送局 NHKサービスセンター

5後援 文部科学省 厚生労働省 内閣府 和歌山県 奈良県 大阪府 京都府
滋賀県 兵庫県 和歌山市 大阪市 京都市 神戸市 堺市
和歌山県教育委員会 大阪府教育委員会 京都府教育委員会
滋賀県教育委員会 兵庫県教育委員会 奈良県教育委員会
和歌山市教育委員会 大阪市教育委員会 京都市教育委員会
神戸市教育委員会 堺市教育委員会 (申請中を含む)

6 日 程

◎保育所(園)・幼稚園・こども園部会 (和歌山市立和佐幼稚園)

9:00	9:30	10:20	10:30	12:10
受 付	公開保育	休 憩	校 種 別 研究実践交流会	移 動 昼食
和佐幼稚園				

※保育所(園)・幼稚園・こども園部会の公開保育会場校から校種別実践交流会の会場である県民文化会館へは、参加者各自での移動をお願いします。
(当日、受付にてタクシーの手配をさせていただきます。)

13:30	14:20	15:50	16:30
全 体 会 開 会 行 事	講 演	閉 会 行 事	
県民文化会館			

◎小学校部会 (和歌山大学教育学部附属小学校)

9:20	9:45	10:30	10:50	12:20
受 付	公開授業	移 動	校 種 別 研究実践交流会	昼 食
附属小学校 / 県民文化会館				

※小学校研究実践交流会は県民文化会館です。参加者各自で移動をお願いします。
(徒歩で5分程度)

◎中学校部会 (和歌山大学教育学部附属中学校)

9:20	9:55	10:45	11:00	12:30
受 付	公開授業	移 動 休 憩	校 種 別 研究実践交流会	昼 食 移 動
附属中学校				

※附属中学校から県民文化会館へは参加者各自での移動をお願いします。
(徒歩で5分程度)

◎高等学校部会 (和歌山県立和歌山商業高等学校)

9:20	9:55	10:45	11:00	12:30
受 付	公開授業	移 動 休 憩	校 種 別 研究実践交流会	昼 食 移 動
和歌山商業高等学校				

※和歌山商業高等学校・附属特別支援学校から県民文化会館へは参加者各自での移動をお願いします。(バス・車等)

◎特別支援学校・学級部会 (和歌山大学教育学部附属特別支援学校)

9:30	9:40	10:30	10:40	12:10
受 付	公開授業	移 動 休 憩	校 種 別 研究実践交流会	昼 食 移 動
附属特別支援学校				

7 記念講演

講 師 : 豊田 充崇 氏

演 題 『校務DXとデータ駆動型教育によるGIGAスクール次の一手』

(中略)

◎中学校部会

和歌山大学教育学部附属中学校（〒 640-8137 和歌山市吹上 1-4-1 ☎ 073-422-3093）

9:20	9:55	10:45	11:00	12:30	13:30	14:20	15:50	16:30
受付	公開授業	移動	校種別 研究実践交流会	昼食	移動	全体会 開会行事	講演	閉会行事
附属中学校					県民文化会館小ホール			

<公開授業>

学年	指導者氏名	教科・領域	単元・題材 など
3年	浜野 杏	国語・アナウンス	「文章の種類を選んで書こう」修学旅行VR映像

◎高等学校部会

和歌山県立和歌山商業高等学校（〒 641-0036 和歌山市砂山南 3-3-94 ☎ 073-424-2446）

9:20	9:55	10:45	11:00	12:30	13:30	14:20	15:50	16:30
受付	公開授業	移動	校種別 研究実践交流会	昼食	移動	全体会 開会行事	講演	閉会行事
和歌山商業高等学校					県民文化会館小ホール			

※会場校から県民文化会館までは参加者各自での移動をお願いします。(車,バス等で10分程度)

<公開授業>

学年・組	指導者氏名	教科・領域
1年7組	松田 貴二	ビジネス基礎

◎特別支援学校・学級部会

和歌山大学教育学部附属特別支援学校

(〒 641-0031 和歌山市西小二里 2-5-18 ☎ 073-444-1080)

9:30	9:40	10:30	10:40	12:10	13:30	14:20	15:50	16:30
受付	公開授業	移動	校種別 研究実践交流会	昼食	移動	全体会 開会行事	講演	閉会行事
和歌山大学教育学部附属特別支援学校					県民文化会館小ホール			

※会場校から県民文化会館までは参加者各自での移動をお願いします。(車,バス等で10分程度)

<公開授業>

学年・組	指導者氏名	教科・領域	単元・題材 など
中学部・ 1グループ	山路 公美子	社会	昔の生活

8 研究実践交流会

校 種	部会テーマ	提 案 者	助 言 者	司 会 者
保育所(園) 幼稚園 こども園	子どもたちの主体的な活動を支える視聴覚教育の在り方	尾崎英隆・田中紬 和歌山：和歌山市立和佐幼稚園	竹内 圭 和歌山：和歌山市教育委員会学校支援課	川畑 豪則 和歌山：和歌山市立山口幼稚園
	直接体験をより豊かにするためのIT機器の活用	下村 貞之 京都：京都市立上賀茂幼稚園		
小学校① (教科)	情報番組を活用したまとめ活動の実践	阪下 健太 和歌山：岩出市立山崎小学校	三浦 正嗣 和歌山：紀の川市立東貴志小学校	矢野 朋希 和歌山：紀の川市立名手小学校
	「個別最適な学び」と協働的な学び」の一体的な充実～特別活動におけるChromebookの活用～	高橋 享 滋賀：栗東市立葉山東小学校	田中 寛 滋賀：栗東市立治田小学校	森村 卓也 滋賀：栗東市立栗東西中学校
小学校② (生活・総合)	「まちを知る まちを守る」(ESDの実践)	片浦 智一 和歌山：橋本市立高野口小学校	井上 佳子 和歌山：橋本市教育委員会主任指導主事	井上 裕美子 和歌山：橋本市立三石小学校
	「良質な動画クリップをモデルとした、プレゼンづくりの実践」	高橋 功太郎 大阪：豊中市立豊島小学校	北村 崇子 大阪：豊中市教育センター指導主事	中川 崇 大阪：豊中市立桜塚小学校
小学校③ (道徳・心の教育)	クラウドバイデフォルトによる道徳授業の質の向上を目指して	谷口 聖人 和歌山：和歌山市立楠見小学校	大西 秀樹 和歌山：和歌山市立芦原小学校	宇治田 乃 和歌山：和歌山市立小倉小学校
	映像を効果的に活用した、人としての生き方、あり方を考える学習	大塚 昭宏 兵庫：南あわじ市立榎列小学校	中谷 崇人 兵庫：兵庫県教育委員会淡路教育事務所情報教育専門推進員	大石 智久 兵庫：南あわじ市立沼島小学校
小学校④ (メディア)	学校教育におけるタブレットの有効な活用方法について	松下 峰樹 和歌山：有田市立宮原小学校	中西 朋子 和歌山：有田市教育委員会指導主事	山口 勇 和歌山：有田川町立藤並小学校
	学級経営における一人一台端末活用の提案	江田 晴彦 奈良：生駒市立壺分小学校	前 浩輔 奈良：川上村立川上小中学校	武本 和祥 奈良：香芝市立二上小学校
中学校	視聴覚教材やタブレット端末を活用した理科教育の実践	佐武 昇 和歌山：和歌山大学教育学部附属中学校	上原 一弥 和歌山：和歌山大学教育学部附属中学校	濱野 杏 和歌山：和歌山大学教育学部附属中学校
	主体的な学習活動のためのICT活用	山根 真一郎 滋賀：守山市立守山南中学校	高橋 利彰 滋賀：滋賀県総合教育センター研修指導主事 情報教育係	瀬川 知久 滋賀：大津市立石山中学校
高等学校	視聴覚教材を用いた商業科目の授業実践	松田 貴二 和歌山：和歌山県立和歌山商業高等学校	中村 憲司 和歌山：和歌山県立和歌山商業高等学校長	田中 文崇 和歌山：和歌山県立和歌山商業高等学校
	「高校での一人一台端末活用事例～生徒の主体的・対話的で深い学びを目指して～」	久保川 剛宏 滋賀：滋賀県立河瀬高等学校		
特別支援学校・学級	ICT機器を活用した病弱支援学校におけるコロナ禍の教育～ピンチをチャンスに～	宮本 裕也 和歌山：みはま支援学校	和田 伸敏 和歌山：和歌山県立学校教育局立学校教育課特別支援班指導主事	碓間 純子 和歌山：みはま支援学校
	一人一人に応じた学習～実態に合わせた支援を実現するために～	土田 真夕 京都：京都市立南太秦小学校		

大阪府高等学校視聴覚教育研究会「大阪高視研」公式ホームページのご案内

<https://www.koushiken.jp>

NHK 杯全国高校放送コンテストの要項・申込み、及び結果・講評

高校生のための放送技術講座の要項・申込み、及び結果・講評

優秀作品のストリーミング

リンク集（Nコン公式、NHK クリエイティブライブラリ、JASRACなど）

質問メール用フォーム

高視研総会関係 など

公式ブログ「大阪はひとつ！放送ぶろぐ」も開設しました。

結果速報や諸連絡などの発信を行っています。

<http://blog1.koushiken.jp>

発行日	令和5年3月31日
発行所	大阪府高等学校視聴覚教育研究会 事務局：池田市旭丘2丁目2番1号 大阪府立池田高等学校内（電話）072-761-1131
発行責任者	伊藤 範子（大阪府立桃谷高等学校通信制校長）
編集委員	久下 哲也（大阪府立池田高等学校）